

第5章 公害の苦情

1. 公害苦情の受理件数

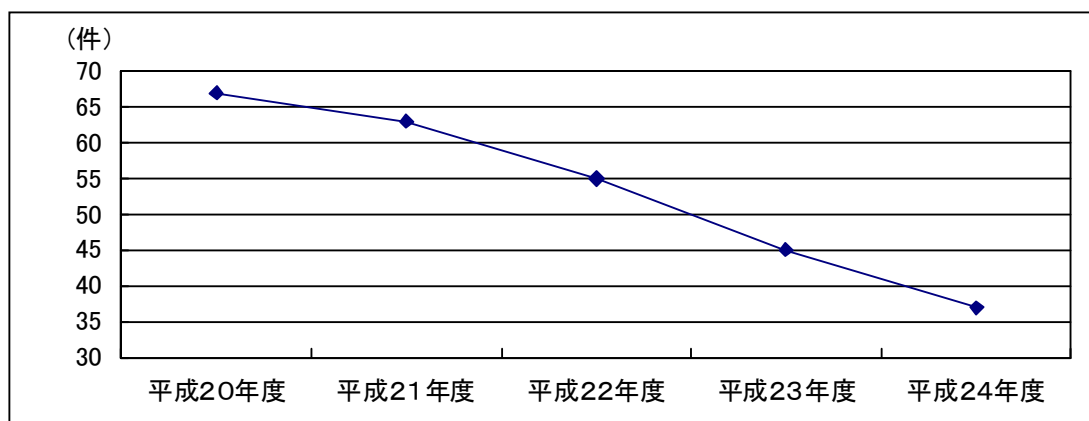
平成24年度に取り扱った苦情件数は37件、そのうち新規直接受理した件数は37件（100%）であり、前年度に比べて8件減少した。

表5－1 受理件数の内訳

年度	合 計	新規直接受理	他からの移送	前年度からの繰越
20	67	67(100%)	0(0.0%)	3(4.3%)
21	63	63(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
22	55	55(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
23	45	45(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
24	37	37(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)

図5－1 新規直接受理件数の経年変化

公害苦情新規直接受理件数



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
件数	67	63	55	45	37

2. 公害の種類別苦情件数

公害の種類別の苦情件数を見ると、焼却行為による大気汚染・悪臭苦情が多く
なっており、次いで水質・騒音による苦情となっている。

表 5－2 種類別苦情件数（新規直接受理）

年度 \ 種別	大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭	その他	合計
平成20年度	29	15	0	7	1	0	7	8	67
	43%	22%	0%	10%	1%	0%	10%	12%	100%
平成21年度	22	12	1	11	3	0	9	5	67
	33%	18%	1%	16%	4%	0%	13%	7%	100%
平成22年度	25	8	0	4	1	0	12	5	63
	40%	13%	0%	6%	2%	0%	19%	8%	100%
平成23年度	20	11	0	3	3	0	8	0	55
	36%	20%	0%	5%	5%	0%	15%	0%	100%
平成24年度	9	8	0	8	0	0	9	3	37
	24%	22%	0%	22%	0%	0%	24%	8%	100%

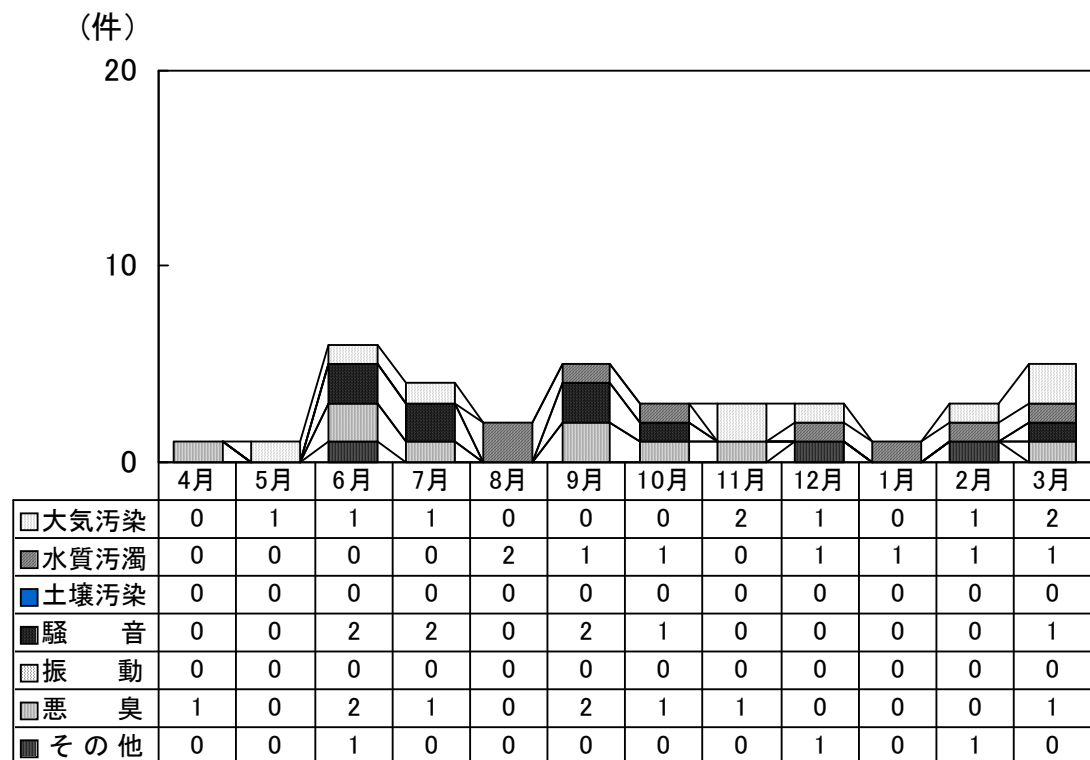
3. 月別苦情受付件数

受理した苦情を月別に見ると、年中通じて苦情が寄せられている。

表 5－3 月別苦情件数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	0	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	2	9
水質汚濁	0	0	0	0	2	1	1	0	1	1	1	1	8
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0	0	1	8
振 動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	2	1	0	2	1	1	0	0	0	1	9
そ の 他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
合 計	1	1	6	4	2	5	3	3	3	1	3	5	37

図 5－2 月別苦情件数



4. 発生源別苦情件数

新規直接受理件数を発生源別に見ると、平成 24 年度では家庭生活が一番多くなっており、次いでその他、不明となっている。

表 5－4 発生源別苦情件数

年 度	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
農業	7	8.5 %	14	13.3 %	7	7.2 %	10	14.9 %	1	1.5 %
建設業	12	14.6 %	10	9.5 %	6	6.2 %	6	9.0 %	5	7.5 %
製造業	1	1.2 %	3	2.9 %	9	9.3 %	4	6.0 %	1	1.5 %
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.2 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
運輸業	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
卸売・小売業	2	2.4 %	3	2.9 %	0	0.0 %	2	3.0 %	1	1.5 %
飲食店・宿泊業	3	3.7 %	2	1.9 %	0	0.0 %	3	4.5 %	1	1.5 %
医療・福祉	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
サービス業	4	4.9 %	8	7.6 %	8	8.2 %	6	9.0 %	4	6.0 %
公務	0	0.0 %	2	1.9 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
家庭生活	14	17.1 %	3	2.9 %	11	11.3 %	4	6.0 %	11	16.4 %
事務所	1	1.2 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
道路	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
空地	2	2.4 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
その他	6	7.3 %	6	5.7 %	4	4.1 %	2	3.0 %	6	9.0 %
不明	14	17.1 %	9	8.6 %	8	8.2 %	6	9.0 %	6	9.0 %
合計	67	100 %	63	100 %	55	100 %	45	100 %	37	100 %

5. 地域別苦情発生件数

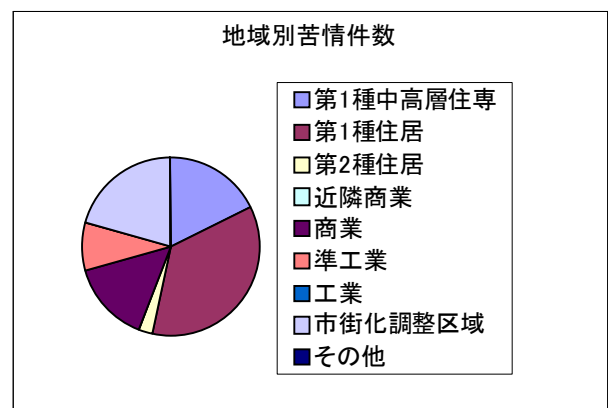
平成 24 年度新規受理した苦情の発生場所をみると、第 1 種住居が 12 件（32.4%）と最も多く、次に市街化調整区域の 7 件（18.9%）と続いている。

表 5－5 被害の用途地域別苦情件数

年度	種別	第1種 低層 住専	第1種 中高層 住専	第1種 住居	第2種 住居	近隣 商業	商業	準工業	工業	市街化 調整 区域	その他
平成20年度		8 11.9%	6 9.0%	15 22.4%	0 0.0%	3 4.5%	2 3.0%	8 11.9%	1 1.5%	24 35.8%	0 0.0%
平成21年度		3 4.8%	5 7.9%	20 31.7%	0 0.0%	1 1.6%	8 12.7%	5 7.9%	1 1.6%	20 31.7%	0 0.0%
平成22年度		6 10.9%	10 18.2%	15 27.3%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.3%	0 0.0%	18 32.7%	0 0.0%
平成23年度		0 0.0%	2 4.4%	9 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 20.0%	6 13.3%	0 0.0%	19 42.2%	0 0.0%
平成24年度		3 8.1%	6 16.2%	12 32.4%	1 2.7%	0 0.0%	5 13.5%	3 8.1%	0 0.0%	7 18.9%	0 0.0%

図 5－3 地域別苦情件数

	件数	%
第1種低層住専	3	8.1%
第1種中高層住専	6	16.2%
第1種住居	12	32.4%
第2種住居	1	2.7%
近隣商業	0	0.0%
商業	5	13.5%
準工業	3	8.1%
工業	0	0.0%
市街化調整区域	7	18.9%
その他	0	0.0%
合計	37	100%



6. 被害の種類別苦情件数

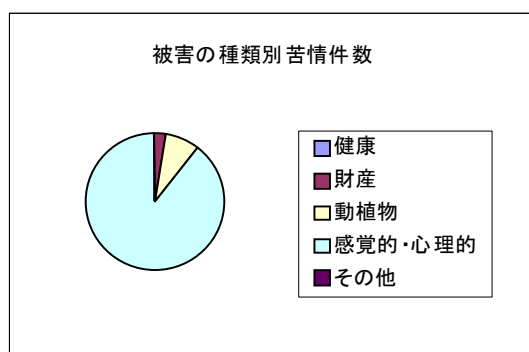
平成 24 年度に新規直接受理した苦情を被害の種類別に見ると、感覚的・心理的な被害（うるさい・臭い・不快などで心身の健康を害するに至らないもの）が 33 件(89.2%)で最も多く、次に動植物に関する被害が 3 件(8.1%)と続いている。

表 5－6 被害の種類別苦情件数

年度 \ 種別	健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
平成 20 年度	3	0	6	58	0	67
	4.5%	0.0%	9.0%	86.6%	0.0%	100%
平成 21 年度	0	1	2	58	2	63
	0.0%	1.6%	3.2%	92.1%	3.2%	100%
平成 22 年度	1	3	1	50	0	55
	1.8%	5.5%	1.8%	90.9%	0.0%	100%
平成 23 年度	0	4	4	36	1	45
	0.0%	8.9%	8.9%	80.0%	2.2%	100%
平成 24 年度	0	1	3	33	0	37
	0.0%	2.7%	8.1%	89.2%	0.0%	100%

図 5－4 被害の種類別苦情件数

	件数	%
健康	0	0.0%
財産	1	2.7%
動植物	3	8.1%
感覚的・心理的	33	89.2%
その他	0	0.0%
合計	37	100%



7. 公害苦情の処理状況

平成 24 年度で取り扱った苦情件数は 37 件であり、次年度への繰越は 0 件であった。

表 5－7 受理・処理件数

種 別 年 度	苦情件数 (繰越等含む)	解 決	移 送			その他	繰 越
			国 等 の 機 関 へ	警 察	小 計		
平成20年度	67	67	0	0	0	0	0
	100%	97%	0%	0%	0%	0%	0%
平成21年度	63	63	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成22年度	55	55	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成23年度	45	45	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成24年度	37	37	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%